

いつもJA津安芸をご利用頂きありがとうございます。
JA津安芸管内の農業情報や農業を営む担い手の皆様に
少しでも役に立つ情報をお届けさせていただきます。

収穫期鳥に注意！

さあ、収穫しようと思ったやさき、農作物が鳥に食べられていた！という経験をされた方は多いのではないのでしょうか。鳥たちは普段から圃場の様子をうかがい、鳥たちにとって、ちょうど食べごろの農作物をいつも狙っています。今回は農作物が少しでも鳥たちの被害を受けないよう、対策を紹介していきたいと思います。



鳥に食べられたキャベツ

防鳥ネット

参考：農林水産省



対象種	網目サイズ
ヒヨドリ	30mm
カラス	75mm

農作物を完全に覆うことができれば、被害をなくすることができるため、コストはかかりますが、**確実な対策**です。

ポイント

・ネットと地面の間にわずかでも隙間があると、中に入り込んでしまいます。

→ ネットと地面の設置部分はめくり上がらないように、しっかりと固定し、隙間ができないようにしてください。

・ネットの外側から農作物を狙ってくることもあります。

→ ネットは緩まないようしっかりと張り、ネットと農作物の間に十分な間隔ができるようにしましょう。

・また、鳥が絡まって死んでしまうことがあります。

→ 目立つ色や、糸が太いもの、鳥が衝突したとき変形しないものなどを使用すると、鳥が絡まりにくくなります。

テグス

参考：農林水産省

防鳥ネットのように完全に被害を防止することはできませんが、カラス類など大型の鳥類に対しては、農地の周りに糸状のものを張ることで、ある程度の侵入防止効果が期待できます。また、テグスは防鳥ネットや機材の購入などに比べて、**資金的な負担が少なく、設置などの人的負担も少ない**です。

ポイント

・テグスでなくとも、水系のような丈夫な糸、ワイヤー等でも良いです。

・張る間隔は、カラスが翼を広げた長さ(約1m)と同じか、それより狭くすると良いです。

注意点

・ヒヨドリやスズメなどの小型の鳥類は、あまり効果がないので、他の対策を利用してください。



追い払い

参考：農林水産省

音、光、模型などさまざまな防鳥機器があり、鳥類は目新しいものを警戒することから、一時的な防鳥効果はあります。しかし、実害をもたらさないことから、持続的な効果はありません。

慣れをなるべく生じさせないために、**設置位置・器具の種類を頻繁に変える、他の被害防止対策と組み合わせる、使用後は放置せず片付ける**等の工夫をお願いします。